

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ I 講座 教授
氏名 Name	高田 珠樹
専門分野 Academic Field	哲学、ドイツ思想史

平成 30 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	世界内存在と人間生成				
研究計画 (400 字~500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)					
<p>次年度に引き続き、編集委員を務める岩波書店『フロイト全集』中、唯一、未刊行にとどまっている別巻・索引巻の完成に努め、年度内での刊行を目指す。</p> <p>一方で、日本ではまだほとんど紹介されていないペーター・スローターダイク (1947~) の『球体』三部作とそれ以後の彼の思索について検討を進める。ハイデガーは『存在と時間』において、人間を現存在、さらにその存在を世界内存在としたうえで、その構成契機の分析を、議論の展開の軸とした。この際、ハイデガーは、現存在の世界が内に在るという在りようを、動物の環境世界への内属とは根本的に異質なものとした。スローターダイクの球体論は、この断層を人類学などの新たな知見を動員しつつ、埋めようとする試みといえる。人類の歴史について球体をモチーフとしたこの壮大なビジョンの可否を検討しつつ、後期ハイデガーとスローターダイクの論点のすり合わせを図るつもりである。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	現代哲学	ドイツ思想史			
キーワード Keywords*2	ハイデガー	フロイト	スローターダイク		